

区内交通結節点周辺の交通対策について

1. 交通結節点とは

交通結節点とは、公共交通機関（鉄道、バス、タクシー）や自動車など、交通機関相互の乗換えや接続が行われる場所をいう。区内では、鉄道相互やバス、タクシー等との乗換えが可能な駅が対象となる。

そして、区内の交通結節点においては、交通機関相互の円滑な乗換え機能をもたせることに加えて、乗換駅を拠点として、まちの魅力を高め活力をもたらすとともに、区民の暮らしと仕事を支える拠点（広域中心拠点、交流拠点、生活拠点）としての機能強化が求められている。

2. 現行の中野区都市計画マスタープランに示される交通結節点

拠点名	主な内容
広域中心拠点 (中野駅周辺)	・中野駅周辺の交通結節点機能の整備（駅舎、バス乗降場、広場、駐車場、ユニバーサルデザインなど） ・中野駅周辺の多様な都市機能の集積、交通結節点の整備による東京の新たな複合拠点の育成・整備
交流拠点・生活拠点 (西武新宿線各駅、東中野駅、中野坂上駅、新中野駅、中野新橋駅周辺など)	・交通結節点機能の整備（駅舎、駅前広場、駅周辺道路、ユニバーサルデザインなど） ・まちの魅力を高め、活力をもたらすとともに区民生活を支える商業、業務施設、交流施設、文化施設、生活関連施設、都市型住宅など多様な都市機能の集積

3. 区内の交通結節点周辺の交通対策（中野駅周辺を除く。）

- (1) 中井駅～野方駅区間では、西武新宿線の地下化を含む連続立体交差化事業が進んでおり、新井薬師前駅周辺や沼袋駅周辺において駅前広場や街路整備などの事業が進んでいる。また、野方以西については事業化に向けた検討が始まっている。
- (2) 東中野駅周辺では、環状六号線拡幅整備事業に伴う西口広場や西口駅舎等の整備、バリアフリー化、地下鉄大江戸線の開通に伴う乗換えルート等の整備が行われた。
- (3) 中野坂上駅周辺では、再開発事業に伴う地下道の整備や地下鉄大江戸線の乗換口の整備、バリアフリー化、都市計画道路（環状六号線、青梅街道）の拡幅整備が行われている。

「中野区都市計画マスタープラン（基本的なまちの構造）」より

